



# あさひ

'83  
3月

第300号



## 働く人

### 武蔵帯海域を守る男

上野 勝男さん

四面を海にかこまれた日本、国際的にも厳しい世界情勢下で、留萌沖武蔵帯水域をパトロールし、外国船の見張りをしているのが海上保安部の巡視船「ちとせ」。

上野船長は、この道三十二年のベテラン、近く二十五歳の誕生を迎えて引退する「ちとせ」と最後の航海を終えた。「私は、一年前に横須賀海上保安部から当地に就任して来ましたが、町のイメージは港街にない明るい感じがしました。」

北海道の海はたびたび航海していましたが、それほど不安はありませんでしたが、世界三天波浪というだけあって、冬の海は一寸の気もゆるせません。

一航海は四・五日で、月に二十日間は海の生活です。

主に韓国船を監視して、日本漁船を守っていますが、これからどんな困難が待ち受けているかわかりません。

三十一人の船員たちと、やがて来るニュー「ちとせ」に船長の目は光る。